

令和 5 年 2 月 1 日

第 4 回原子力災害復興連携フォーラム 東京電力福島第一原子力発電所事故後の 「生活再建」と「国際的な理解醸成」

東京電力福島第一原子力発電所事故から 12 年が経過しようとしています。福島大学・東京大学・立命館大学は震災以降、避難地域における農業環境調査と営農再開支援（小山）、双葉 8 町村住民意向調査（丹波）、海外風評被害意向調査（関谷）を実施し、震災復興にかかわる基礎データを収集してきました。調査結果の報告を踏まえ、帰還困難区域解除から数年が経過した地域の生活再建の課題と、処理水放出の問題を含め海外からみた福島原発事故への認識を考えます。

■日 時： 2023 年 2 月 8 日（水）13 時 30 分～15 時 30 分（13 時開場）

■会 場： コラッセふくしま 5 階 研修室

■報告者：

第一部 報告会

第一報告 「帰還後の生活実態及び集落機能調査について-葛尾村全戸訪問調査の中間報告-」 小山良太（福島大学食農学類・教授）

第二報告 「原子力災害 12 年からの被災者の生活再建-3 回目の双葉 8 町村住民意向調査-」 丹波史紀（立命館大学産業社会学部・教授／福島大学食農学類・客員教授）

第三報告 「風評等に関する国際比較調査結果-12 カ国の国際比較-」 関谷直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター・准教授／東日本大震災・原子力災害伝承館・上級研究員）

第二部 総合討論、質疑応答

コメンテータ： 除本 理史（大阪公立大学経営学研究科・教授）

申し込み先： 東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター（平日 9:00～17:00） TEL:03-5841-5924 E-mail: cidir@iii.u-tokyo.ac.jp

主催： 福島大学食農学類／東京大学
大学院情報学環
共催： 東日本大震災・原子力災害伝承館

（お問い合わせ先）

福島大学 食農学類・教授 小山 良太

電 話： 024-548-8387

メール： koyama@econ.fukushima-u.ac.jp

第4回

福島大学・東京大学・立命館大学
原子力災害復興連携フォーラム

東京電力福島第一原子力発電所事故後の

生活再建と 国際的な 理解醸成

東京電力福島第一原子力発電所事故から12年が経過しようとしています。
帰還困難区域解除から数年が経過した地域の生活再建の課題と、
処理水放出の問題を含め海外からみた福島原発事故への認識を考えます。

日時

2023年

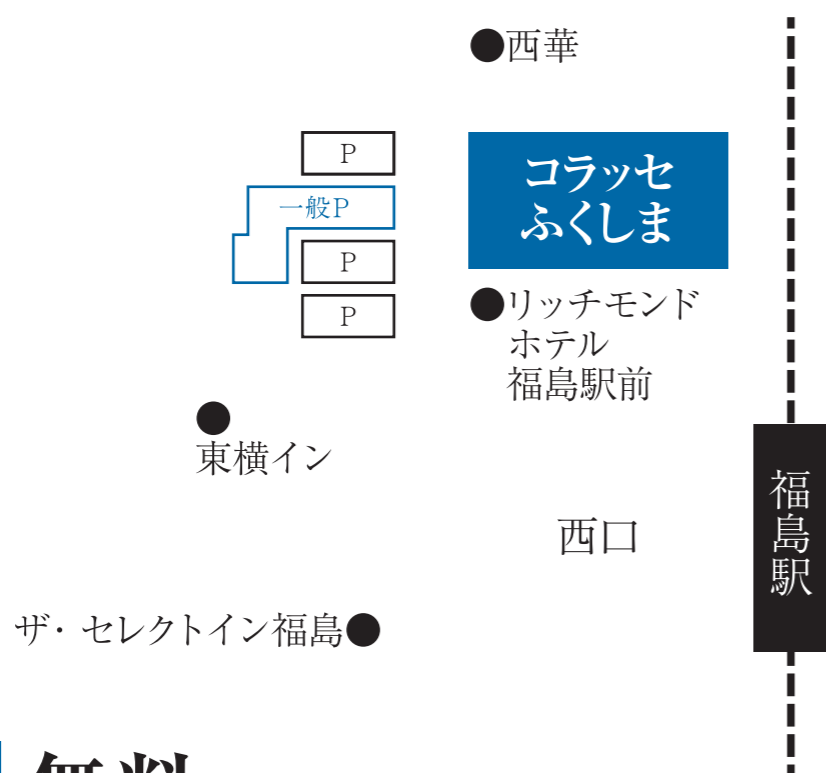
2月8日 [水]

13:30~16:00 (予定) 13:00開場

場所

コラッセふくしま5階

研修室 〒960-8053 福島県福島市三河南町1-20
(JR福島駅西口より徒歩3分)



プログラム

第一部 報告会

第一報告 「帰還後の生活実態及び集落機能調査について
— 葛尾村全戸訪問調査の中間報告 —」

小山 良太 (福島大学食農学類・教授)

第二報告 「原子力災害 12年からの被災者の生活再建」

丹波 史紀 (立命館大学産業社会学部・教授/福島大学食農学類・客員教授)

第三報告 「風評等に関する国際比較調査結果」

関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター・准教授
東日本大震災・原子力災害伝承館・上級研究員)

第二部 総合討論、質疑応答

小山 良太 丹波 史紀 関谷 直也

コメンテータ 除本 理史 (大阪公立大学経営学研究科・教授)

主催 福島大学食農学類

東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター

共催 東日本大震災・原子力災害伝承館

参加費

無料 (※要申込)

対象

報道関係者、自治体関係者、
復興関係者、省庁職員など

お申し込み先



東京大学大学院情報学環
総合防災情報研究センター

✉ cidir@iii.u-tokyo.ac.jp

☎ 03-5841-5924 (平日 9:00~17:00)

本フォーラムは、課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業、大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業の一環として行われます。